

精華町教育委員会議事録

令和元年（第7回）

1 開 会 令和元年7月29日(月) 午後3時00分
閉 会 令和元年7月29日(月) 午後3時40分

2 出席委員 川村教育長 松本委員 新司委員 岡島委員
松下委員

3 欠席委員 なし

4 出席事務局職員

岩崎教育部長

林田総括指導主事

松井学校教育課長

石崎生涯学習課長

上原学校教育課係長

5 傍聴者 なし

6 議事の概要

(1) 開会

教育長から第7回教育委員会の開会を宣言。

(2) 前回議事録について

教育部長から令和元年第6回教育委員会の議事録について説明。

【採 決】

・全員承認

(3) 教育長報告事項

相楽地方の教育委員会連合会の研修会があり、阿部山城教育局長から国の教育改革について、主に小中教育の内容ではあったが、大学入試まで展望して、概括的に全体を見渡した話があり、全体として何が進められているかについて、理解を深めることができた。

次に、新学習指導要領について、来年度から小学校でもプログラミング教育が必修となるため、各小学校でプログラミング教育授業を実践していくための

取組を進めており、7月12日には、東光小学校の算数の授業で、コンピュータ、タブレットを使用し、正三角形をコンピュータに描かせるようにプログラミングする授業を行った。ただ、授業の準備などに学研都市の研究機関の協力を得ながら、複数教員が時間を割いて準備等も行う中で実施された授業でもあった。今後は、同様のプログラミング教育授業を夏の教員研修を経て、秋以降、他の小学校でも実践していくように各校へ要請しながら、来年度に向けて準備を進めていきたいと考えている。

次に、7月19日に山城教科用図書採択地区協議会が開催され、山城地区の教科書採択が行われた。精華町でも8月の教育委員会にて教科書採択を行う予定である。

次に、7月23日に開催された総合教育会議について、ICT環境の整備、教員の働き方改革、不登校に向き合う保護者の思いなど、木村町長に教育委員それぞれの課題認識、思いを伝えていただき、現在課題となっていることを、しっかりと話題として取り上げることができたことは、今後の精華町の教育の充実、そして教育行政の推進にとって大変有益であったと感じている。

次に、7月25日に開催された子ども議会について、各小学校の6年生のうち14名の児童が代表質問を行い、町長と教育長が答弁をしていくというスタイルで運営された。テーマが、「精華町を住みよい町とするために何をすべきか、何ができるのか」であったため、児童からの質問項目が町の美化、ごみ問題が中心となった。今回は、もう少し多様な形で発想できるテーマ設定を検討しても良いのではないかと感じた。

最後に教科書採択の今後の段取りについて、来年度春から小学校が新学習指導要領に移行。これに伴って、小学校の全教科の教科書について、8月の教育委員会で採択する。中学校についても4年に1度の採択の年に当たっているため、採択が必要であるが、採択した一年後に新学習指導要領に移行するため、もう一度新しい教科書を採択し直す必要が出てくる。そのため、京都府からの指導は、中学校の教科書については、現行の教科書に特段の不都合はないため、各採択地区は同一の教科書を採択すればよいとのことである。また、採択に当たってはご意見を賜りたいと考えている。

【委員の意見等】

松 下 委 員 プログラミング教育について、国や府からプログラミング教

育で学習すべき教科の単元など大枠みたいなものは示されているのか。また、各学年、どの教科で何時間というような枠組みはあるのか。

川村教育長 国ではホームページにプログラミング教育の手引を上げており、それにどの教科のどの単元でどんな使い方をするかの具体例が幾つか挙がっている。また、府についても授業の指導案集を現在、編纂していると聞いている。研究が進み、本町独自の内容を開発していけば様々な授業展開が可能となる。しかし、現時点では、国から示されたもの、府がこれから示そうとしているものなど基に、まずは各学校でプログラミング教育に手を付けていくという段階であると考えている。各学年や教科での時間の割り当てなどの枠組みはない。

(4) 事務局からの諸報告

総括指導主事 1 生徒指導報告について

(1) 小学校

6月の問題事象はなし。不登校については6名で2名の増加となっている。

(2) 中学校

6月の問題事象は6件。暴力事象はないが、万引き等の窃盗の事象、喫煙、SNSでのトラブルなどがあった。全て指導は終えている。不登校については24名で、3名の増加となっている。

不登校については、各学校において家庭訪問を中心に状況把握に努め、丁寧な対応を心がけている。

生涯学習課長 1 子ども議会について

7月25日に開催し、教育委員の皆様にもご参加いただいた。教育長の報告でもあったように、テーマについての見直しが必要と考えている。事前にテーマを幾つか決めて、そのテーマを学校ごとに輪番制でお願いするなど、今後に向けて検討していきたい。

生涯学習課長 2 青少年の健全育成協議会の取り組みについて

今年も夏の防犯パトロールを実施しており、7月23日から8月22日の間で、主に火曜、木曜日の午後7時から9時までの間、6回行う予定。各地域の協議会の地域委員さんを初め、木津警察署、木津防犯推進委員の協議会の皆様方にもご参加をいただきながら、夜間パトロールをしていく。

生涯学習課長 3 第1回せいか健康・スポーツ交流フェスティバルについて

今年は、町民体育大会をリニューアルして、名称を「せいか健康・スポーツ交流フェスティバル」に変更し、体育協会主催・教育委員会共催で開催を予定している。10月14日の月曜日の祝日にむくのきセンターで開催予定である。

主な内容としては、地区対抗のドッジビー大会を開催し、各地区2チームを限度として応募をお願いしている。事前に説明会や練習会等も行う予定である。そのほか、血管年齢などの簡単な健康チェックができる健康チェック・測定コーナーを設ける。同コーナーについては、せいか365事務局と精華台にあるフィットネスクラブピノスさんの協力も得ながら運営を行う。また、お楽しみコーナーとして、じゃんけんゲームなどを企画している。

なお、同フェスティバルの案内については、7月26日に自治会長に案内しており、今後、町民の皆様への周知としては、町広報誌「華創」の9月号及び町ホームページ等々で行っていく予定である。

生涯学習課長 4 東京2020のオリンピック・パラリンピックの聖火リレーについて

東京2020のオリンピック・パラリンピック全体の雰囲気盛り上げるため、京都府からマグネットバッジが各町に全体で100個ほど配布された。教育委員各位におかれても配布させていただくので、機会をみつけて着けていただければと思う。

また、現在、聖火ランナーの募集中で、8月末までの期間で京都府においても聖火リレーの募集をしている。

生涯学習課長 5 あいさつ運動について

今年度2回目の取り組みということで、8月27日から29日までの3日間、拡大あいさつ運動を実施する予定である。

【委員からの意見】

松本委員 6月の中学校の問題事象について、特に大きな問題となる事象は発生していないのか。金銭物品盗や悪質ないたずらなど、少し気になる事象も挙がっている。

総括指導主事 金銭物品盗については、遊びにいった友人宅で物を持って帰ったというもので、その関係の調査を進める際に、SNSでの中傷が発見され、悪質ないたずらに上がったもので、同一人物である。若干の気になるところはあるが、重大事象となるような問題はない。必要に応じて、本人と親も交えた上での指導を行ったり、教育相談なども活用したりしながら、指導を行っていきたい。他の事象についても同様である。

松下委員 問題事象で喫煙が1件あるが、差し障りのない範囲で発見した状況や指導の状況について教えてほしい。

総括指導主事 同じ生徒が繰り返している状況で、教員が気にかけて見ており、発見の都度、指導を行っている。今回については、校外で発見したものである。

松下委員 喫煙が気になったのは、最近、薬物乱用の関係で、中学生が薬物に手を出すという報道があり、京都市内でもそのような事件があった。平気で喫煙をしだすと、それが薬物にもつながってくる可能性が高くなるので、学校にもしっかりと指導して欲しい。

もう1点、1学期で学級が正常に機能しない状態が起こっているとの報告などはあるか。

総括指導主事 今のところ、そのような報告は受けていない。

松下委員 第1回せいか健康・スポーツ交流フェスティバルのドッジビ

一大会について、大会開催要項に、小学3年生以上で同一自治会区内に住んでいるメンバーで構成してくださいと書いてあるが、1チームの中に例えば小学生何人以上などの条件はあるのか。

生涯学習課長 小学3年生以上の年齢の方で構成しなければならないということ以外は、特に条件はない。

新 司 委 員 ドッジビーとはどんなゲームなのか教えていただきたい。

生涯学習課長 ドッジビーとは、子どもから大人まで幅広く楽しむことができるニュースポーツの一つで、精華町においても、PTA主催行事として、毎年、学校対抗の大会が開催されている。ルールはドッジボールと同じ。ただ、そのボールの代わりに、やわらかいフリスビーのような円盤を相手に投げて当てていく。なお、円盤を地面に対し垂直にして投げるとスピードがでるため、今回の大会では、円盤を地面に対し水平にして投げることであり、その他ルール説明等については説明会を実施したり、練習会をしたりする予定である。

川村教育長 各委員の地元におかれても、近所や地域でお誘い合わせいただき、参加していただければと思う。

(5) 後援関係

6月から7月に受け付けた教育委員会後援事業の報告は、総数19件、学校教育課関係が0件、生涯学習課関係が19件である。内訳は、社会教育係が16件、社会体育係が3件、図書係が0件である。

(6) 8月の行事予定

(7) 閉会

教育長が第7回教育委員会の閉会を宣言。